

■ 学校推薦型選抜スタート

夏休み明けの9月4日、学校推薦型選抜にチャレンジする3年次生の校内選考会議がありました。ところで、1, 2年次生のみなさんは、学校推薦型選抜がどんな入試なのか知っていますか。ここでは、学校推薦型選抜について説明しましょう。

■ 学校推薦型選抜って何？

大学や専門学校は、当然、優秀で学習意欲ある高校生に入学してほしいと願っています。色々な入学者選抜方法がありますが、そのなかのひとつが、学校推薦型選抜です。この選抜にチャレンジするためには、高校から推薦を受ける必要があります。そのためには、成績や出席状況等が基準を満たし、受験校を第1希望としていることが条件です。

■ 指定校推薦って何？公募推薦って何？

学校推薦型選抜には、指定校推薦と公募推薦があります。指定校推薦とは、大学等が、各高校に対し「□□高校からは□人の生徒を受け入れます」と指定します。高校はそこに対して生徒を推薦します。大学などと高校との信頼関係に基づく選抜のため、入試が競争になることはありません。ただし、指定校推薦でも不合格になるケースはゼロではありません。

公募推薦は、大学等が高校を指定せず、高校から推薦を得られた高校生を、広く受け付ける入試です。たとえ高校からの推薦を得られたとしても、入試では全国のライバルとの競争になります。

■ 校内選考会議って何？

高校からの推薦を得るためには、成績や生活の状況が基準を満たしている必要があります。誰でも推薦を得られるわけではありません。3年次のときの成績だけでなく、1～2年次の頃の成績や生活の状況も判断材料になります。例年、3年の今の時期に、自分が推薦基準を満たしていないことが分かり、「1年の時もっと頑張っておけばよかった」と悔やむ姿が見受けられます。

特に、指定校推薦は、大学等から指定人数が限られているため、そこを志望する生徒が指定人数より多い場合、高校内で選抜をしなければなりません。選抜は、成績や生活の状況を評価し、より優れている者のみを推薦します。このジャッジを、高校として公平に行う場が、校内選考会議です。つまり、指定校推薦といっても実際は校内選考という競争があるわけですね。

■ どんな準備が必要？

大学や専門学校によって様々ですが、ほとんどの選抜方法に、面接・書類審査があります。小論文や学力テストを課してくる学校もありますし、実技系の学校では、作品ポートフォリオ等の実績を求めてくることもあります。いずれにせよ、「なぜうちの学校に入学したいの？」「高校でどんなことを頑張ったの？」といったことを、自分の言葉で表現できるように準備しておかなければなりません。

本校では、特に学校推薦を受けた生徒に対して、OCA や担任の先生の外に、キャリアデザイン部も選抜対策指導に入ります。高校から推薦してもらえたわけですから、自信をもって選抜に挑めるよう、学校として組織的・継続的に指導していきます。

■ 王総の代表者としての自覚を

学校推薦型選抜で合格を勝ち取った生徒は、自分が王総の代表者である責任を負うことになります。大学等に入塾してから、引き続き学業に励み、優秀な成績を修めてください。大学等の入試担当者は、本校に來校して、みなさんの様子を細かく報告してくれますからね。

■ 全国テストの受け方

9月18日(金)に、1, 2年次は「スタディーサポート(通称:スタサポ)」を実施しました。これは、ベネッセが提供する学力診断テストです。幅広い範囲から出題され、学力の弱点や勉強方法の改善点を明確にする目的です。全国の高校生が受験するテストなので、中にはムズカシイ問題もあったと思います。ここでは、全国テストの受け方について説明します。

■全国テストはまさに診断！

たとえば、熱が出て体調を崩したとします。まず、発熱の原因を特定しなければなりません。特定できれば、あう薬や治療方法が分かります。これと同じです。学力を高めたいのに思うようにならず悩んでいる生徒は、その原因や対策を明らかにすることが不可欠です。一方で、志望校に合格するためにはどのような受験勉強が必要かを検討するためには、客観的な現状を知らなければなりません。全国テストの結果は、これらを解決してくれる貴重なデータです。高校生たるもの、全国テストを最大限活用する姿勢が必要です。

■まず、全部読む！

1教科60分から80分のテストです。1ページ目から順番に解き始めていませんか。いきなり解き始めないで、まずは解かなければならない問題を全部読みましょう。次に、問題番号に○△×を振りましょう。○→解ける問題、△→じっくり考えれば解けそうな問題、×→時間をかけても解けない問題 です。ここまで準備できたら、○から解き始めましょう。○を解き終えたら、残り時間は△に全力をかたむけて挑みましょう。×は、時間をかけても解けないと判断したのだから、解かなくても構いません。

■受験したその日のうちに解き直す！

一番大事なことです。最後に受け取る解説冊子は、非常によくできた参考書であると言えます。解説冊子が一晩でボロボロになるくらい、その日のうちに熟読しましょう。翌日以降では効果が激減します。

■練習は本番のように、本番は練習のように！

誰もが、共通テストや学力選抜の本番、勉強の成果をマックスで発揮したいと願うはずです。全国テストであっても、人生を決する運命の日だと思って臨みましょう。

■ 選択科目本調査迫る！

総合学科に通うみなさんが、自分だけの時間割をつくるための選択科目本調査が迫っています。2学期中間考査が終わったら、すぐに履修相談週間です。

時間割づくりで最も重要なことは、**自分が将来どうなりたいか、どうで在りたいかを明らかにすること**です。しかし、これはとても難しい問題です。履修相談週間だけでなく、今からでもこの難問と向き合い続けましょう。困ったことや分からないことがあったら、担任の先生だけでなく、各教科の先生にも積極的に相談しましょう。保護者のサインも必要ですから、家族会議をひらいて、自分だけの時間割を完成させよう。

■ キャリカンコラム

私は今年度、「産業社会と人間(通称:サンシャ)」の企画・運営を担当しています。サンシャの目的を一言で表すなら、「自分とは何か、社会はどうあるべきか」を深掘りすることだと考えています。

これは非常に難しく、答えのない問いです。しかし、この問いに正面から向き合い、乗り越えていくことこそが、自分だけの時間割でキャリアを描く“総合学科の価値”を真に輝かせるのだと信じています。

王総が積み重ねてきたこれまでのサンシャの取組をふまえつつ、新しい学びを開発しています。難問だからこそ、ワクワクできる授業にしていきたいと思っています。

